【HOUSE: Housing Officers for University Student Education】

大学寮の教育的運営を考える担当者ネットワーク会議

2022 HOUSE-i (ハウス会議インターナショナル)

5月20日(金) ドイツの寮担当者とRAを招いたオンライン開催

Pictures from unsplash.com

【開催の背景】

高等教育の国際化が進む中、留学生の住居確保という観点だけでなく、ローカルな学生も含めた学生の学びの場として「学生寮」や「学生宿舎」の在り方が世界的に注目されています。

国や文化背景により学生寮の規模や構造等により対応は様々ですが、**成長の場としての学生寮を維持することは共通の課題**ではないでしょうか。今回は**日本とは一味違うドイツの高等教育のしくみや国際寮の運営を学び、ドイツと日本の複合学寮システムの共通点・相違点を**探り、各々の学生寮における教育寮の在り方を一緒に模索したいと思います。

開催日:

5月20日(金)16:00 〜18:00

対象: 学生寮関係者, 大学教職員, RA(学生), 民間企業・団体, 学生寮の運営やRA活動に関心のある方

参加費: 無料（※事前登録必要）

登録方法:URLまたは右のQRコードから参加登録フォームへのご記入をお願いします。

開催言語**:** 英語（※講演資料は日本語あり）

https://forms.gle/Nn8TR3SD4GdkWQMy5

持ち物：第二部でKahootクイズを実施しますので、ぜひスマートフォンを持ってご参加ください。

・・・・・当日プログラム (予定) ・・・・・

1. 開会の挨拶
   一橋大学国際教育センター　阿部仁准教授
2. 第1部　講演 ドイツ カールスルエ
   学生支援寮担当者 Ms. Iris Buchmann , Ms. Laura Liefke「**ドイツの高等教育における学生支援と国際寮の運営**」質疑応答
3. 第2部 RAによる事例発表（英語）「**コロナ禍における寮生支援活動：ドイツと日本のケース**」
   質疑応答

登録フォーム➡

登録締切 5/16(月)13時

※5/18(水)までにZoom情報を送付予定です。届かない場合は19日（木）までにご連絡下さい。

【HOUSE会議とは?】

教育寮としての学生寮運営に積極的な大学教職員・学生スタッフまた企業関係者が、①各々の学生寮の取り組みや問題点について意見を交換するとともに、②学生寮に携わる現場担当者同士のネットワーク構築を図ることにより、学生の学びの場としての機能や、今後の望ましい教育寮の在り方を考えていく場です。

＜過去開催のHOUSE会議（参加人数）＞

2017年　一橋大学・小平（75名）

2018年　一橋大学・国立（85名）

2019年　豊橋技術科学大学・豊橋（82名）

2020年　COVID-19感染防止のため中止

2021年　一橋大学・オンライン(120名)

==========

お問い合わせフォーム：

ハウス会議事務局　植松・北澤・藤田